



すべての視力障がい者に福音を！ キリスト教良書を！

# ホ・ロゴス

2020年10月  
57号



## ὁ λόγος

ホ・ロゴスとは、ギリシャ語で「言葉」という意味。英語に言い換えると“The Word”。このタイトルは、静岡盲人伝道センター広報誌第2号(1969・11月発行)から使われ、ヨハネによる福音書の冒頭「初めに言(ことば)があった言は神と共にあった」から引用されている。視力に障がいを持つすべての人に福音を、という熱い祈りが込められている。



### 維持会員募集中!

当センター事業の維持・継続のために、皆さまのご入会をお願いしています。維持会員への加入は、1ヶ月一口100円から受け付けます。詳しくはセンターへお問い合わせください。

## 主に在る信仰と献身

理事長 遠山信和  
(改革派静岡教会牧師)

今年の2月に行われた理事会で理事長に選ばれました遠山信和と申します。静岡キリスト教育人伝道センターの働きのために、様々なかたちで御支援いただいております皆様に心より感謝申し上げます。

2020年という年は、「新型コロナウイルス」の広がりとともに、世界中でロックダウンや自粛が求められ、キリスト教会も集まることによる感染を防止するために少人数での礼拝やウェブ礼拝などによって礼拝を行う教会も多数あったと思われれます。

しかしその間も、静岡キリスト教育人伝道センターでは、月刊誌や貸出業務など、ほぼ通常通り行うことが出来ました。多くの皆様のご協力によって音訳や点訳、デジ編集などの働きも行うことが出来ましたことを心より感謝いたします。

賀川豊彦の「一粒の麦」という書物の中に、次のような祈りがあります。

「天の父よ。今朝、われわれの醜い姿を新しく感じて恥ずかしいと思います。この後、あなたの道をまっすぐに歩ませて下さい。多くの兄弟姉妹たちが、過去の汚い自己を葬り新しく神に生きんことを誓っています。どうぞ、その決心を起こした兄弟たちが神に従い、十字架の血潮を、その生

活に活かし、キリストのごとく勇敢になって、一生を貫くようにして下さい。われわれが、すべてキリストの血潮を浴びたものとして造りかえられ、一人一人が小さいキリストとなり、黙って人の尻拭いをする道を歩ませて下さい。あなたの栄光を現すために一生を棒に振る勇気を与えて下さい。今や日本は未曾有の危機の危機に臨んでいます。願わくは、われわれをして、日本の地に染み込ませ、新しい生命の芽生えしめる一粒の麦とならしめて下さい。貴い血潮を流すものとならせて下さい。われわれのために救いを完成し給いしキリストによって祈ります。アーメン。」



味わい深い祈りです。キリストの道をまっすぐに歩むことは、このような信仰の祈りに生きることでもあると思います。「一人一人が小さいキリストとなり、黙って人の尻拭いをする道を歩ませて下さい。あなたの栄光を現すために一生を棒に振る勇気を与えて下さい。」こうした祈りの中に賀川さんのキリストに対する「信仰と献身」の深さを見る思いがいたします。

2020年というこの年は、世界中の人々が世の終わりの近いことを感じ、恐れや不安を覚えた年ではないかと思えます。このような時こそ、賀川さんが祈られたようなとりなしの祈りが求められている時ではないでしょうか。

静岡キリスト教育人伝道センター広報誌「ホ・ロゴス」第57号 2020年10月発行

発行人：理事長 遠山信和 印刷：ワークホーム聖恵

発行：静岡キリスト教育人伝道センター

〒422-8041 静岡市駿河区中田一丁目5-21

Tel 054-285-0496 Fax 054-285-0746 振替 00870-2-7003

Eメール：shizumouden@dct7.net HP：http://www.dct7.net/

開館時間：祝日等を除く月曜日から金曜日 午前9時～午後5時

# センターはこんな働きをしています！

静岡キリスト教盲人伝道センターの働きのために、皆様から多くのご加禱・ご支援をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。今年は、コロナウィルスの広がりと感染防止のために各地で自粛を視野に入れながらのお働きをしておられるのではないかと思います。そうした中、当センターでは、ボランティアの皆様のご協力をいただいて、ほぼ通常通りの働きが出来ておりますことを心より感謝いたします。



## コロナ禍における信仰生活

世の終わりが近いことを感じさせられる今日  
新しい生活様式が模索される中、  
困難とどのように向き合うか、  
私たちに与えられた  
大きな課題です。

### お知らせ

盲人伝道センターには、キリスト教専門の点字図書館と、鍼・マッサージを行う盲婦人ホームがあります。

長い間盲婦人ホームを支え、鍼灸の治療を続けてこられた汐沢はま姉が、今年2月脳出血のために病院に入院し、リハビリの訓練を続けてこられましたが、治療の仕事が出来なくなりました。現在盲婦人ホームの働きは休止中です。

盲婦人ホームのため、そして汐沢姉の回復のためにお祈りいただければ感謝です。

### ◆『ヨハネの黙示録講解 苦難の中にある希望』

望月明著、2011年、いのちのことば社発行（CD1枚）

終末と新天新地についての預言の書「ヨハネの黙示録」は、迫害下にある信徒を励まし、希望に生きることを訴える手紙でもある。黙示録の書かれた時代背景や黙示文学の特徴をとらえて、丁寧に解説。

### ◆『それでも希望を見上げて 「世の光」「ライフ・ライン」 バイブルメッセージ集』

羽鳥明・村上宣道ほか著、2012年、いのちのことば社発行（CD1枚・点字1冊）

先行きの見えない世の中、絶望に沈む人々に手渡したい伝道文書。信仰と愛と希望を伝える好評のメッセージ。

### ◆『山上の説教 終末時を生きる』

井上良雄著、1994年、新教出版社発行（CD1枚・点字4冊）

今、世界は、早急に解決しなければならないがしかし、非常に解決困難ないくつかの問題を抱えている。地球終末のイメージが人類を覆う中、イエスの「山上の説教」の中に語られた言葉の中に、困難を克服するヒントをさぐる。



### ◆『コロナウィルス禍の世界で、神はどこにいるのか』

ジョン・レノックス著、2020年、いのちのことば社発行

### ◆『コロナウィルスとキリスト 未曾有の危機に聖書を読む』

ジョン・パイパー著、2020年、いのちのことば社発行

上記2冊は、音声訳・点訳ともに間もなく完成予定です！

貸し出しご希望の方は、いつでも盲伝センターまでお知らせください。  
(TEL: 054-285-0496)

## 献金感謝報告 (2019年1月～2020年8月)

### \*維持献金・ご支援献金を感謝いたします！\*

(大変申し訳ございませんが敬称・回数は省略させていただきます。)

《個人》青木恵子、青山昭一郎、青山鶴江、浅野紘一郎、芦川和子、芦川慶子、足立正範、足立吉枝、荒木孝夫・洋子、鮎川千織、有吉光宣、安食修、飯塚光喜、家山和夫・恵子、家山光雄・節子、池田恵治、石丸新・重子、市原邦造・紀恵子、市丸信行、市村ケイ子、伊藤コウ、伊藤良子、稲垣宣子、稲垣正男、井上都希子、林ヨエル、岩崎容子、岩瀬智子、内海和子、宇野典子、漆崎英之、江口真理、榎本嘉津代、蛭原まゆみ、遠藤純子、大石富子、大崎真粧代、大下富士男、大西雅廣、太田円三・禎子、太田善朗、大場勝子、大森とし子、大山須美子、小川久美子、小川洋子、岡村智子、岡村秀昭、奥村史枝、奥山嗣夫・正江、尾崎ミサ子、長田満、鬼澤澄江、小野寺順子、小幡美智子、小山田稔、貝和洋子、香川満寿子、籠谷賢治、片岡啓子、勝山志づえ、加藤厚司、加藤照子、金山良雄、金田知朗、金子千鶴、上原菊子、神尾千鶴、亀田功治、川上静子、川瀬統一、川野辺一江、川辺博子、木崎フサ子、北沢康男、北谷あき子、金慶熙、金夏中、木村将興、木村正子、木村庸五、経塚武、小泉啓子、児島博、小谷和海・洋子、後藤泉、後藤忠治郎、小林栄子、小林幸子、小林友子、小林芙美子、小松幸子、西條献児、酒井和子、酒井敬子、佐々木京子、佐々木義行、佐藤公義、佐藤恵子、佐藤けい子、坂部福代、佐野多恵子、三瓶忠克、塩坂多美子、汐沢はま、塩田隆良、重松一彦、重丸京子、志田悠、柴田美代子、島田悦子、島田充子、島袋正直、赤代安子、杉山清美、杉澤貴美代、鈴木経子、鈴木雅樹・瑞江、鈴木正子、須田京子、諏訪知枝、諏訪三夫、添田信江、高岡茂子、高田徹・照美、高橋祐三、瀧澤稔、田久保龍三、竹内すみ、竹林美千代、田中文宏、田中雄二、谷川謙、玉置恵子、丹野まゆみ、知久与仁、崔錫光、月岡佳久、月岡米子、辻泰男、津田美知子、鄭登美子、土肥規子、遠見潤子、遠山さと子、遠山信和・百合子、徳地妙子、富岡愛美、鳥飼富士夫、内藤洋子、永井直、長尾京子、長崎秀子、長渡研史、永田正江、中尾慎宏、中根汎信・文江、仲本宗秀、中山真希、名古屋忠興、中山仰・啓子、梨木和子、西堀則男、西村永湖、西森統子、西山牧子、二村厚司、野村純二、長康弘、橋本進二・雅子、長谷川正一、服部たえ子、服部時久、服部宣夫、服部真理子、花岡陽子、羽野環、羽野浩雪、林真理子、濱崎明、原宏、伴裕子、東田咲樹、東中喜彦、福原末男、二木良子、古川敬一、前田茂己・洋子、真柄周吾、蒔田麻耶、牧野幹男、増田千鶴子、増田伸子、松浦和子、松下しん、的場和代、三神善樹・美知子、美甘恵美子、美田嘉信・早苗、三矢よし子、三田村苗美、宮川活夫、宮坂和子、宮本博文、牟田口達也、村上暁子、村瀬光枝、望月明・鈴子、本橋恭代、森平邦子、森光美文、八木久江、柳沼敏子、矢代由有、安田正之・愛子、矢野幸子、矢部美佐子、山岸とみ、山崎光吾、山崎公三、山崎久子、山崎ひとみ、山下みや子、山梨和江、横田隆・みのり、横山米子、吉川正子、吉田晃啓、吉田一一、吉田京子、吉田良行、吉本淑子、盧桂華、盧俊雄、渡井秀雄、渡辺のり子、渡邊公伸、匿名4名、マラナタ、芦屋教会維持会員、犬山教会維持会員、江古田教会維持会員、岡山西教会維持会員、高蔵寺教会維持会員、湖北台教会維持会員、坂戸教会維持会員、静岡教会維持会員、宝塚教会維持会員、千城台教会維持会員、豊明教会維持会員、名古屋教会維持会員、瑞浪教会維持会員、南浦和教会維持会員、吉原富士見教会維持会員

《教会・団体》(AG) 鳴尾キリスト教会、(改革長老) 東須磨教会、(神の教会) 萩山神の教会、(九州キリスト) 対馬キリスト福音教会、(基督兄弟団) 一宮教会、(在日大韓) 西新井教会、(JECA) 前橋キリスト教会、丸亀聖書教会、(聖公会) 首里聖アンデレ教会、宮古聖ヤコブ教会、(聖書キ

リスト)のぞみ教会、(単立)ウチナー教会、鎌倉海岸キリスト教会、静岡その枝キリスト教会、八街グレイス教会、(同盟基督)徳丸町キリスト教会、(ナザレン)浦添ナザレン教会、(日キ教会)大阪姫松教会、小樽シオン教会、尾道西教会、静岡池田伝道所、夙川教会日曜学校、湘南教会、聖園教会婦人会&日曜学校、西経堂伝道所、函館相生教会、東広島自由キリスト教会、福岡城南教会、(日キ教団)芦屋西教会、遠州栄光教会住吉教会学校、隠岐教会、金沢元町教会、川和教会、草津教会、久世教会、埼玉新生教会、堺教会、坂出大浜教会、佐渡教会、佐原教会、静岡教会婦人会、静岡一番町教会&こどもの教会、静岡草深教会&婦人会、島田教会、清水ヶ丘教会、首里教会、草加教会、高砂教会、玉出教会、田園調布教会、長崎教会、勿来教会、東村山教会、ひばりが丘教会、藤沢ベテル伝道所、箕面教会、森小路教会、大和キリスト教会、横浜本郷台教会、東海教区静岡中静分区分婦人部、(バプ連盟)日野神明キリスト教会、(保守バプ)いわき希望教会、(ホーリネス)いしのみなと教会、大阪栄光キリスト教会、蒲郡キリスト教会、木場深川キリスト教会、西落合キリスト教会、別府キリスト教会、(無教会)浜松聖書集会、(改革派)青葉台キリスト教会、青森教会、厚木教会&教会学校、伊丹教会、板宿教会、稲毛海岸教会、犬山教会&兄弟会&姉妹会、上野緑ヶ丘教会婦人部、江古田教会&女性会&こどもの教会、恵那教会、大阪教会執事会、太田教会、大宮教会、大屋教会、岡山教会、岡山西教会、男山教会、尾張旭教会&姉妹会、春日井教会&サフラン会、勝田台教会&女性会、金沢教会、上諏訪湖畔教会、上福岡教会、川越教会、北中山教会、北沼津キリスト教会、岐阜加納教会&婦人会、熊本教会、桑名教会女性会、恵泉教会婦人会、甲子園教会、高蔵寺教会、神戸長田教会、湖北台教会&日曜学校、坂出飯山教会婦人会、堺みくに教会、坂戸教会&婦人会、札幌教会、滋賀摂理教会&執事会、静岡教会&婦人会、湘南恩寵教会、新浦安教会ぶどうの木教会&男性会&日曜学校、神港教会&婦人会&聖書学校、新所沢教会、宿毛教会婦人会、鈴蘭台教会&姉妹会、西神教会、関キリスト教会&姉妹会、仙台教会、仙台栄光教会、仙台カナン教会&女性会、善通寺教会、千里摂理教会、千里山教会婦人会、草加松原教会、園田教会、高松東教会、宝塚教会聖書学校、多治見教会&姉妹会、千城台教会&女性の会、秩父教会、銚子栄光教会、筑波みことば教会女性の会、津島教会、綱島教会&男子会&婦人会&日曜学校、東京教会&執事会、東京恩寵教会執事会&日曜学校教師会、徳島教会、徳島西部教会、所沢ニューライフ教会、豊明教会、那加教会、長丘教会教会学校、長久手教会、中津川教会、長野佐久教会、名古屋教会&姉妹会、名古屋岩の上教会、灘教会&婦人会、新潟教会、新座志木教会、西鎌倉教会、花小金井教会&婦人会、花見川キリスト教会、羽生栄光教会&教会学校、浜松教会、八戸教会、東川口教会、東仙台教会&CS、広島教会&執事会&婦人会、ひたちなか教会、船橋高根教会&女性の会、松戸小金原教会&アネモネ会、松山教会女子の会、三郷教会、瑞浪教会&婦人会、南浦和教会、南越谷コイノニア教会、南与力町教会、盛岡教会、八事教会、山形教会、山本教会婦人会、山梨栄光教会、横浜教会&CS、横浜中央教会、横浜教会&CS、横浜中央教会、四日市教会、六戸教会、和歌山教会、亙理教会、OPC仙台めぐみ教会、大会長老会、北四国連合婦人会、中部中会長老会、中部中会執事活動委員会、中部中会信徒研修会、中部中会連合婦人会、神戸改革派神学校学生会、(団体)関西学院宗教活動委員会、関西盲人宣教会、静岡市キリスト教連絡会、静岡盲信徒会、超教派キリスト教視覚障害者友の会、東京基督教大学図書館、静岡盲婦人ホーム、日本聖書神学校学生自治会、

皆様からの尊いご献金を心より感謝いたします。

## 静岡キリスト教育人伝道センター 点字図書館ご利用案内

### 1. 開館時間等

- ・開館時間  
月曜～金曜 午前9時から午後5時  
(時間外は留守電・faxまたはeメールで受付)

### ② 費用

- ・利用登録料は無料です。
- ・手帳をお持ちでない方は、郵送料が自己負担になります。

### 2. 貸し出しについて

#### ① 対象者

- ・視覚障害者手帳をお持ちの方
- ・文字読書が困難な方。  
(高齢・病・その他の障がいの為)

\*日本全国が貸し出し対象です。

(インターネットでは海外も含)

\*郵送(またはネット送信)でお送りします。

### ③ 貸し出し期間

- ・ご自宅に届いてから1か月以内
- ・点字月刊誌は一週間以内

### 3. その他

- ・新製作図書情報「センター通信」(季刊)をご希望の方にお送りします。

\*事業運営のため、お祈りと献金をお願いいたします。

## 視覚障がいとキリスト教点字図書館について

◆**視覚障がい者の読書とキリスト教点字図書館** ◆視覚による情報を受けることの出来ない方にとって、活字の出版物がどんなに溢れていても、それが点字や音声等によらなければ読むことができません。従って視覚障がい者の読書は点字図書館が重要な役割を担っています。国内には一般図書を供えた公共の点字図書館は各地にあります。当館はキリスト教図書専門の点字図書館です。

◆**点字図書館の特長** ◆点字図書館は、一般図書館と次のような違いがあります。①キリスト教の良書を選定し、点字と音声に変換して図書を製作し所蔵する。②視覚障がい読者へ郵送による貸出しを行う。③これらの働きは職員のみならず、ボランティアの力が大いに必要です。ボランティア募集や育成は点字図書館の重要な仕事となります。

◆**視覚障がい者への福音宣教に仕えるため** ◆一冊の活字書から点字書・音声図書になるまでには、多くの時間と労苦により完成します。これらすべての活動は、盲人信徒・求道者の聖書の学び、信仰の集い、伝道、教会のグループ研究のテキストの提供、盲人牧師・神学生・教会役員の方々の学習や研究等、純粋に福音宣教に用いていただくために、公的援助を受けず、宗教法人組織で運営しています。

皆さま方の深いご理解、お祈り、温かいご支援を心からお願いいたします。  
点訳・音訳などセンターの働きに関心を持たれた方は、遠慮なくお問い合わせ下さい。

## ご支援ください



当センターの活動は伝道を目的とすることから、公的援助は受けず、**全て皆様からの尊いご支援により**支えられています。点字図書・音訳図書制作、ボランティア育成のための研修費、維持費(人件費)などに用いられます。

事業維持のため、**維持会員**として、この働きを支えお祈りください。**(維持献金)**

献金額：月に一口100円から、ご自由に設定ください。

送金方法：郵便振替と、

ご指定口座から引き落としを行う「ワイドネット」がご利用できます。

(三菱UFJファクターが引き落とし代行を行います)

\*詳しくは、当センターへお問い合わせください。

維持献金のほかに、**自由献金**も常時受け付けています。

覚えてご協力いただければ感謝です。

郵便振替：00870-2-7003

口座名義：静岡キリスト教育人伝道センター

## ボランティアを募集しています

- ① 音訳
- ② デイジー編集
- ③ テキストデイジー編集
- ④ テキスト校正
- ⑤ 点訳

\*初心者の方には通信講座があります。いつでもお問い合わせください。

### ご自宅のパソコンで作業できます

作業ソフトは当センターから貸与いたします。音訳はマイクや調整機器が必要です。ご希望があれば研修会も検討しますのでお知らせください。

### 超教派の働きです

超教派のキリスト教図書製作をしています。主の恵みを共に喜び、学びや気づきが与えられます。

## 主の導きに感謝して

HUMIHITO TANAKA

田中 文人 さん

(日本バプテスト連盟有明キリスト教会牧師・福岡県大牟田市)



1963年2月生まれの私は、今年満57歳になりました。57年生かされていることに、まず感謝しています。また、教会の方々と家族の祈りと協力に支えられ牧師の働きを続けられていることも、感謝です。

### 1. 発病と障害

生後間もなく、私は、全身に湿疹が出来る腸性末端皮膚炎という大変珍しい皮膚病を発症しました。両親は医師から「5歳くらいまでしか生きられないでしょう」と告げられたそうです。

診断通り、5歳のときに皮膚病は悪化しました。特効薬を服用し、命は助かりましたが、一夜にして両眼視力は眼前手動、両足も膝から下が麻痺しました。キノフォームの副作用によるスモン病でした。現在も湿疹はありますが、日常生活は保たれています。また、点字使用者で白杖と松葉杖の3本を使って歩いています。

### 2. 救いの恵み

教会には7歳頃から、クリスチャンの母に連れられて妹と一緒に通う様になりました。数年後、「この人に神の業があらわれるためです。」(ヨハネ9章3節)の御言葉が示され、13歳でイエスさまを信じてバプテスマを受けました。

ですが、イエスさまが私自身の罪のために死んでくださったことに本当に気付かされたのは、その10年後でした。皮膚炎が悪化し、「神様、どうしても入院したくありませんから、治してください。」と初めて心から祈りました。何とも勝手な願いですが、神様は聞いてくださり、入院せずに回復したのです。祈りが聞かれることを体験し、これまで神様に背を向けて生き

て来た罪を悔い改め、十字架の血による赦しをいただきました。その時から毎日聖書を読み静思の時を持つようにも変えられました。

### 3. キリストの弟子の歩みを願って

その後、公務員として公共図書館で12年間、障害者サービスを担当しました。利用者の方々と接する中で、キリストの福音を伝えることに専念するよう示されていきました。

しばらく祈る中で、「私主は、義をもってあなたを召し、…あなたを見守り…。」(イザヤ42章6節)の御言葉が与えられ、牧師になる決心をしました。親元から離れての独り暮らし、神学校の学び、そして結婚と、解決されなくてはならない課題が多くありましたが、それらひとつひとつを神様は時に適って満たしていただき、2004年4月に有明教会に遣わされ現在に至っています。

有明教会は、10数人の小さな群です。少人数であることもあり、新型コロナウイルスの自粛期間中も、感染防止に努めながら、主の日の礼拝と水曜午前の祈禱会を続けることが出来ました。その間、習い事や会合が中止になり、教会に来られる様になった方々もおられます。人知を遥に超えて働かれる神様の御業に、ただ感謝しています。

いま私は、イエスさまの弟子になり直すよう示されています。真理であり光そのものである救い主を聖書から最大限忠実に紹介する働きに用いられるよう、お祈りくだされば幸いです。

7月に発生した九州南部豪雨災害での支援事業を下記の団体が超教派で行っています。

九州キリスト災害支援センター 電話：07076602280 メールアドレス：kyushuchristdrc@gmail.com

## 主に導かれて ― 点訳がライフワークに

金子道弘（点訳者・横浜市）

点字との出会いは、基督教「ルーテル」機関紙での点訳者募集記事でした。

読み方練習、書き方練習、自由課題で6枚ノームスを6か月かかって、37歳（1977年）に日本点字図書館の点訳奉仕者になりました。厚めのA4に点筆を使い、1、2字の書き違いは糊を薄く延ばして訂正して…。大変な作業でした。

1990年頃にパソコンで点訳が可能になり飛躍的に能率が上がりました。

94年から、95年にかけて、「カラマーゾフの兄弟」上下29巻、96年「レミゼラブル」4冊全40巻なども点訳してきました。

1983年から87年にかけて一般高校に通う盲学生への教科書点訳の個人点訳を神奈川のグループで行い、数学と化学を担当しました。

60歳で定年を機に「盲人伝道センター」の点訳者となり、基督教関連書を点訳・校正することになりました。

現役中は土日と帰宅後の3時間位しかとれなかったのが、365日作業可能になり、点訳・校正は飛躍的に増やせるようになりました。

鎌倉雪ノ下教会の点訳グループの加藤常昭牧師の図書の校正が、かなり大量でしたが懐かしい思い出です。

また、10年来点訳を続けている、ネット週刊配信「世界基督教情報」（ひと月ごとにテキスト校正・編集）の点訳校正をずっとしていただいた上原姉が昨年引退され、私も高齢なので後継者にお渡ししたい状況です。

ところで、自己校正にはカセットテレコが必須です。6、7年前まではソニーの可変速でカウンターもありオートリバーズ機がありましたが、最近不要なラジカセ機能付で再生も不便なものしかなく、3回の校正に苦勞しています。（点訳・録音・校正と最低4回は原本確

認が必要なのですが・・・）

70歳（10年前）に後継者育成のために、「るーてる」や盲伝にお願いして点訳者を募って通信添削を始めましたが、現在も継続中ですがはかばかしくありません。

基督教図書は専門図書であるため、全国ネットの一般図書館では作成されないために、険しい状況です。

でも、主の道に備えあり。で主が御心により点訳継続の人材を準備してくださると信じ祈っております。

## 「道の曲り角に立って」

望月千雅子（利用&奉仕者・静岡市）

去年の8月に米国から帰国しました。両親も高齢になって参りましたし、私もそんな両親の元に居るべきではないか、と感じ帰国を決めたのでした。教鞭を取っていた大学での契約期間もちょうど更新時期に来ていたので、思い切って背中を押された形での帰国でした。正直当初は海外で仕事を続け、在住し続けることが出来ない、と言うことがとても残念で、自身帰国の決心を誤った選択をしたように感じて思い悩みましたが、今では私がした選択も神様の御心ではないだろうかと思えるようになって来ました。

今後は就職先を探しながら、静岡基督教盲人伝道センターにおいても主に喜んでいただける御奉仕を続けさせていただければ、と願っております。就職も、私の今後の歩みも主が導き、私の進むべき道を必ず開いて下さることを信じ、確信しつつ前進致して参りたいと思っております。

「道を曲がった」先に主が私のために何を用意して下さるのかとても楽しみでなりません。



### AIトーク（音声合成）音訳を始めます

現在、駅や公共施設、企業など、さまざまところでAI（音声合成）による案内が用いられています。AIによる音声合成も人間が生で録音される音声にかなり近づいてきていて、自然な言葉で聞き取れるようになってきたことから、静岡基督教盲人伝道センターでも、AI（音声合成）による音訳を取り入れることを考えています。学習機能があり、比較的容易に文字データを音声に変換できますので、御自宅にパソコンがあれば、ソフトをインストールして音訳することが可能です。センターで作られた基督教の音訳図書や月刊誌が、さらに多くの方々に用いられて、人々の信仰の養いとなり、キリストによる救いに導かれる方々がたくさん起こされますようにと祈り願っています。（遠山）

